



▲甘い甘い幻の高座スイカ

7月12日、みのりファーム(大上)で高座スイカ(富研号)を食しました。とても甘く、懐かしい味でした。かつて、爆発的な人気を誇りながらも、栽培の難しさから姿を消した高座スイカでしたが、市内農家5戸でつくる高座スイカ研究会の皆さんの努力で復活しました。【高橋 元】



▲頑張るスーパーシニア

長年にわたりソフトボールをたしなんだ仲間たちがお互いに年を重ね、「スーパーシニア」の名の下、元気にプレーしています。「医者にかからない」をモットーに、「若き老人」を目指して、仲間づくりと親睦に努めながら張り切っています。【大滝 隆司】



▲一流選手がバレーボール指導

7月13日、スポーツセンターでバレーボールV・プレミアリーグで活躍する「サントリーサンバーズ」の選手を講師に招き、講習会を開催しました。約70人が参加し、パスなどの基本練習のほか選手によるデモンストレーションが行われました。



▲子育て中のカルガモ一家

目久尻川の護岸工事で、今年は見られないかと思っていたカルガモ一家が元気なのが分かりました。今年も子育て順調のようです。お母さんの下で生活訓練に励んでいます。さて、自立はいつかな。目久尻川で。【段木 武】



▲自治会活動の飛躍を期して

6月23日、オークラフロンティアホテル海老名で市自治会長連絡協議会(見上正信会長)主催の市自治会役員合同研修会が開かれました。自治会活動のより一層の推進と役員の見識を深めることを目的としたものです。市内の小園自治会や横浜市の中の自治会での活動報告が行われ、参加者の関心を集めました。【吉江 旭】



▲あやせグルメで地域を元気に

6月29日、中央公民館で市民活動交流カフェが開催され、30余人の市民活動団体の方々が参加しました。基調講演のほか、地元食材を使った「あんこやチーズ入りのおまんじゅう」などをいただきながらグループ討議が行われました。「私しか知らないあやせのグルメ」をテーマに活発な意見交換があり、今回の交流カフェは大盛況でした。【福島 順一】



▲連結許可書伝達式(中央は笠間市長)

新たなまちづくりの第一歩 (仮称)綾瀬スマートIC工事開始公告

(仮称)綾瀬スマートインターチェンジは、6月11日付けで東名高速道路への連結が許可され、7月4日に中日本高速道路(株)の工事開始が公告されました。同インターチェンジ新設事業の開始は、本市の新たなまちづくりの第一歩となります。29年度末までの開通を目指し、事業を進めます。圏インター推進室 ☎70・5686。

訂正 7月1日号8面「綾南公園の『緑の守り人』」の記事署名を「秋元謙治」に訂正します。



署名記事は広報まちかど特派員から



▲「地域を知る」総合学習

6月6日、城山中学校の1年生が総合学習の一環として、「地域を知る」をテーマに講義を受けました。講師の高橋元さん(小園南)が「市内にある工場の数は県内で4番目の多さで、世界に誇れる工業製品を製造している工場もあります」と製品の現物を見せながら説明すると、約200人の生徒はメモを取りながら真剣に聞き入っていました。【近藤 秀敏】



▲小園は「花の楽園」

6月8日、富士見通りの望地交差点近くの花壇は、色とりどりの花であふれました。小園の「道守サポーターズ」の皆さんが、朝早くから花の苗の植え込み作業に精を出していました。花を愛でる皆さんの優しさに感謝です。【秋元 謙治】



▲バラのおすしを作ったよ

6月23日、南部ふれあい会館で上土棚南の子ども会「スーパーキッズクラブ」のお楽しみクッキングが行われました。親子23人が参加し、市の花「バラ」を模した太巻きずし作りに挑みました。管理栄養士の指導の下、子どもたちは友達やお母さんと話したり相談したりしながら慎重に作業を進め、2時間ほどでできあがりしました。

